

一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会 2022 年度 第 3 回理事会 議事録案

日 時：2023 年 3 月 24 日（金） 15:00~18:15

場 所：主たる事務所会議室において web 開催（zoom）

出席者： 理事長 石田 秀行（現地出席）
副理事長 青木 大輔 石川 秀樹
理 事 有賀 智之 大住 省三 川崎 優子 隈元 謙介 下平 秀樹
西垣 昌和 平沢 晃 平田 敬治 門馬 智之 山口 達郎 吉田 輝彦
監 事 鈴木 眞一 武田 祐子 田村 和朗

司法書士 寺本 俊孝

事務局：石坂 和子 内山 覚巳

編集事務局：岡田 雅子

Web に理事 14 名、監事 3 名が出席し、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態にあり、本会が成立することが確認された。

議 事：

【報告・審議事項】

1. 理事長報告

石田理事長より、各種委員会や部会の諸問題に関する対応について報告された。

2. 庶務報告

事務局から配布資料にもとづき、会員数、新規入会者、会費納入状況（2023 年 1 月 31 日現在）について報告された。へるす出版編集事務局より本学会監修刊行物 2 冊の出版状況についても報告された。

3. 各種委員会報告・審議事項

①総務委員会：平田担当理事

配布資料に基づき、前回理事会以降の通信理事会決議事項について報告された。

次期総会の議案事項として、名誉会員、特別会員の推戴、次期、次々期学術集會会長について、承認された。また、第 31 回学術集會会長については 2 名体制で平田敬治先生とともに織田信弥先生も会長を務めることが承認された。

会則委員会からの会則変更の審議の前に、総務・会則合同委員会から理事・評議員の選出方法の見直しに関する協議事案が配布資料として提出され、前回臨時理事会での決定事項をもとに

- 1) 現理事体制の 1 年延長について特別利害関係となる可能性のある理事を除いた理事により審議、再度承認された。これにともなう、監事の任期の 1 年延長については定款への附則の追加で対応することとし、定時社員総会に諮ることが承認された。
- 2) 前回臨時理事会での決定事項をもとに、理事立候補年齢を 63 歳未満とすることが承認されたが、理事への立候補の機会を失う評議員への対応として次回の理事選挙に限り立候補年齢を 65 歳未満とす

る(ただし立候補年齢が64歳以上の理事は中間年において信任を受ける権利を有しない)ことが承認された。

3) 評議員選出方法について、評議員選挙を行わず、評議員選出委員会を新規設立し、同委員会で会員属性による評議員定数の適正按分を行うことが承認された。

②会則委員会：門馬担当理事

総務・会則合同委員会からの前述の提出議案に関する承認にもとづき、定款、定款細則、理事選挙施行細則、評議員選出細則の改定案、ならびに評議員選出委員会規約案が提示・審議の上、承認された。なお、定款の改定案については次回の定時評議員会で審議されることとなった。

③学術・教育委員会：平沢担当理事

配布資料に基づき、市民公開講座の開催について報告された。

審議事項として、今後の市民公開講座の開催について内規の作成、「遺伝性腫瘍の確定診断のための遺伝学的検査 Consensus Recommendation (仮称) WG の立ち上げ、副委員長 (学術担当) および副委員長 (教育担当) の2副委員長制について審議され、承認された。

④保険診療委員会：平沢担当理事

配布資料に基づき、内保連(悪性腫瘍関連委員会)への加入も含めた委員会活動について報告された。

⑤財務委員会：青木担当理事

2023年度予算(案)について審議され、一部修正(会議費用の増額)の上、承認された。

⑥編集委員会：下平担当理事

配布資料にもとづき、「遺伝性腫瘍」の発刊状況、投稿論文審査状況、投稿勧誘状況について報告された。

⑦遺伝性腫瘍セミナー委員会：吉田担当理事

配布資料にもとづき、第25回遺伝性腫瘍セミナーの開催報告、ならびに第26回遺伝性腫瘍セミナー・第2回アドバンストセミナーの開催予定(詳細未定)について報告された。

⑧専門医・HTC/FTC制度委員会：隈元担当理事、川崎担当理事

隈元担当理事より、配布資料にもとづき、2022年度第6回遺伝性腫瘍専門医試験結果、専門医更新申請結果、正規遺伝性腫瘍指導医申請期間の公示、暫定指導医新規・更新の申請状況、遺伝性腫瘍専門医制度の経過措置期間の延長について報告され、専門医試験に関する会計報告も含め審議・承認された。

川崎担当理事より、HTC移行申請・経過申請・認定試験の審査結果、FTCの新規申請・更新申請の審査結果、第29回学術集会における単位認定大将プログラムの選定結果、HTC/FTCに関するWEB申請への移行準備について報告された。

⑨将来検討委員会：石田理事長

第28回学術集会後の会員へのアンケート結果の再報告、ならびに第29回学術集会後にも前回と同様のアンケート調査を行う予定であることが報告された。

⑩ガイドライン委員会：大住担当理事

報告事項なし

⑪COI委員会：大住担当理事

配布資料に基づき、COI に関する指針について文言の修正、追記、削除を行うことが報告・承認された。

⑫倫理審査委員会：井本担当理事（平田理事代理報告）

配布資料に基づき、通信理事会で承認された「演題応募における倫理的手続きに関する指針」「演題応募におけるカテゴリー分類とフローチャートおよびカテゴリー毎の倫理手続き」「Q&A 集」の改定にもとづき、第 29 回学術集会より試験運用開始であることが報告された。

⑬広報委員会：有賀担当理事

配布資料に基づき、委員会活動、ニュースレター配信状況、転載申請の審査結果について報告された。新転載規程・転載申込書、ホームページリニューアル方針、英文版 HP の作成案が提示され、承認された。

⑭国際委員会・がんゲノム・データベース（GDB）委員会：山口担当理事

配布資料に基づき、委員会活動（遺伝性腫瘍レジストリ研究に関する競争的資金申請、C-CAT データ利活用の検討、会員施設への遺伝性腫瘍の診療状況に関するアンケート実施計画、学術集会における国際セッション開催検討）について報告された。会員施設へのアンケート調査については、まずはターゲットを絞って研修施設または専門医が在籍している施設を対象にしてみたいかかとの意見があり、再度委員会で検討することとなった。

⑮遺伝カウンセリング委員会：西垣担当理事

配布資料に基づき、遺伝性腫瘍を専門としないがん診療従事者（非会員を含む）への啓発動画の作成状況、遺伝性腫瘍関連 web リソースリスト・ポータルサイトの作成計画、地域連携のための情報交換会の開催計画（北海道、中国地方で試験的開催予定）について報告された。

⑯作業部会委員会：石川担当理事

LFS 部会、Cowden 症候群部会、SPS 部会の活動状況について報告された。また、第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会にて LFS 部会、Cowden 症候群部会の報告会が開催されることが報告された。

4. その他

大住理事より、本学会が後援する第 16 回遺伝カウンセラーのための実践集中講座の開催予定について報告された。

石川理事より、本学会 30 周年記念事業に関する進捗状況が報告された。

飛松由紀子特別アドバイザーの任期 2 年終了が報告され、定款細則第 32 条にもとづき、同氏の再任が承認された。

第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会の準備状況について、杉本会長の代理で平田理事より報告があった。

次回の理事会について、第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会の前日 6 月 15 日（木）に開催することとなった。

以上をもって議事の全部を終了し、議長は 18 時 15 分閉会を宣した。

以上